



2018年4月1日
高松空港株式会社

高松空港 2018年4月1日 民営化スタート！

旅客ターミナルビルの改修をはじめとする お客様の利便性向上のための新サービスを開始

高松空港株式会社（香川県高松市香南町、代表取締役社長：渡部 哲也）は、2018年4月1日の民営化スタートに合わせて、国内線搭乗待合室の拡張・リニューアルや駐車場利便性の向上など、新サービスを開始しました。今後は旅客ターミナルビルの拡張や、駐車場容量の拡大等をはじめとする交通アクセスの改善などを積極的に進め、お客様の利便性向上に努めてまいります。

新サービス内容

1 旅客ターミナルビルの改修

- ・お客様の空港での滞在時間を「ゆったり」と「楽しく」過ごして頂けるよう、国内線搭乗待合室の拡張・リニューアルや国際線搭乗待合室の免税店舗を拡大。
- ・お客様を最初にお出迎えする空間となる到着ロビーには、四国瀬戸内の豊かな観光資源を紹介するウェルカムサインを設置。

2 交通アクセスの改善

- ・事前精算機の新設に加え、今まで使えなかった交通系や流通系の電子マネーによる決済の導入など、駐車場の利便性を強化。
- ・地元のバス会社と連携して、高松空港からダイレクトに人気の高い観光地である「琴平」「祖谷（いや）」への直行バス路線を新設（本年6月頃を予定）。

3 案内サービスの強化

- ・高松空港と高松空港ビルのホームページの統合、デザインの一新を行い、お客様にとって親しみやすく、使いやすいホームページにリニューアル。
- ・インフォメーションカウンターにおいて、四国高松の周遊観光に便利な「ことでん・JR ぐるり～んきっぷ」の販売を開始。

4 航空ネットワークの拡充

- ・ジェットスター・ジャパンが運航する高松－東京（成田）線が1日最大3往復に増便。

1 旅客ターミナルビルの改修

【①旅客ターミナルビル2F：国内線搭乗待合室のリニューアル】

「Memory of Setouchi 瀬戸内のかげら」をコンセプトに国内線搭乗待合室のリニューアルを行い、瀬戸内の島なみの風景・空気感を感じることのできる空間を目指します。お客様それぞれの過ごし方に合わせてお選び頂ける多様なファニチャーを設置し、搭乗前の快適なひとときをご提供します。



【②旅客ターミナルビル2F：国内線搭乗待合室の拡張】

平成元年の開港以来、貴賓室として利用されてきた空間の一部を撤去し、搭乗待合室の一部としてご利用頂けるよう拡張リニューアルを行います。高松市が世界に誇る庵治石を用いた床、さぬきの伝統工芸である組手障子を連想させる格子組の天井を活かしつつ、ゆったりと寛げる空間を創出します。



【③旅客ターミナルビル2F：免税店舗の拡張】

今後更なる増加が期待されるインバウンド需要を見越し、お客様に出発までの滞在時間をお買物で最後まで楽しんで頂くよう、免税店舗を拡張（約45㎡）し、商品ラインナップを拡大します。

<拡大する商品ラインナップ>

◆海外のお客様から要望が多かったブランドの導入

久保田(萬寿・碧寿)《日本酒》／ glo(グロー)《加熱式タバコ》／ 正官庄《高麗人参》

◆四国ブランドを拡充し、四国・瀬戸内を世界にアピール

RICE FORCE《香川県産化粧品》／ 志満秀《香川県産海老せんべい》／ 10“TEN”《愛媛県産みかん食品》
tet. 《香川県産手袋》／ 高知県産珊瑚、宇和島産真珠のアクセサリ

◆人気の高いブランドの更なる拡充

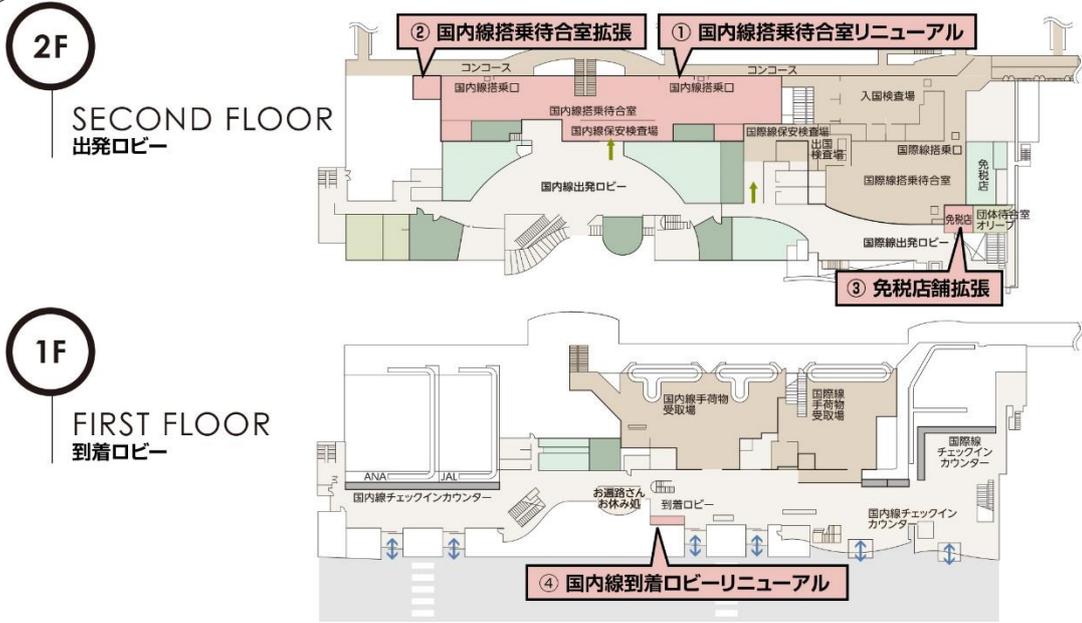
CASIO《腕時計》／ SWANS《サングラス》／ Crossfor《アクセサリ》／ 国産ウイスキー

【④旅客ターミナルビル1F：国内線到着ロビーのリニューアル】

「高松からはじまる新たな旅 ～四国の波紋 Shikoku ripples～」をコンセプトに、空港を經由して各々の目的地に向かうお客様が必ず通る国内線到着ロビーに、行き先を一望できるインフォメーションマップを設置します。空港から目的地までの距離を示す同心円は、水面に広がる波紋を想起させ、そのライン上には様々な目的地の特徴をシンプルに表現したアイコンが散りばめられています。海に囲まれた四国の土地性、空港から四国各県をはじめとする地域の広がり、旅先への期待感を感じさせます。



<位置図>



<①②③④>

【改修コンセプト・設計・施工 株式会社丹青社】

空港や駅ビルなどの複合商業施設、博物館などの文化施設、専門店やイベントなど、人やモノが行き交う空間づくりの実績多数。

<①②③>

【設計協力 株式会社イチバンセン】

交通、医療、福祉、教育などの公共施設、鉄道車両やバス車両などの公共交通、個人住宅、アートインスタレーションまで手掛ける。英国デザイン協会 SBID 国際デザイン賞最優秀賞、IDA 米国国際デザイン賞金賞など国内外で受賞多数。

<④>

【ウェルカムサインデザイン・制作 廣村デザイン事務所】

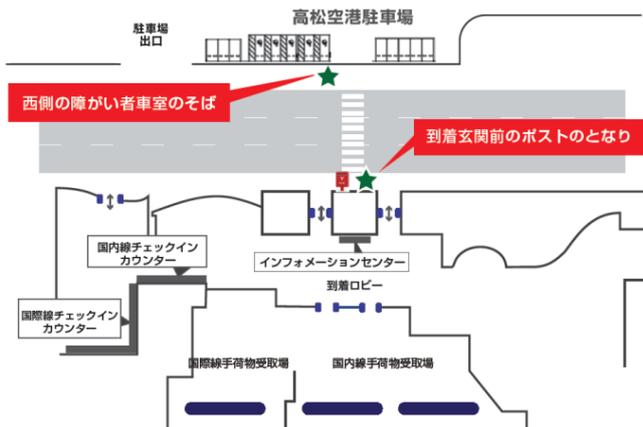
1988年にグラフィックデザイナー「廣村正彰」によって設立。グラフィックデザインの他、商業施設から公共施設におけるサインデザイン、CI、VI計画などを幅広く手がける。主な受賞歴に、N.Y. ADC 銀賞、毎日デザイン賞、KU/KAN Award、SDA 大賞、グッドデザイン賞 金賞、Design for Asia Award 大賞など多数。

2 交通アクセスの改善

【駐車場の利便性を強化】

タイムズ24株式会社と連携し、「事前精算機」の新設や複数の電子マネーに対応した「マルチリーダー」の追加など、出庫時の精算行為を軽減するサービスの導入により出庫渋滞の緩和を図ります。

<事前精算機設置場所>



<決済可能な電子マネー>



※「ICOCA」は、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
 ※「Kitaca」は、北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。
 ※「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
 ※「PASMO」は、株式会社バスモの登録商標です。
 ※「TOICA」は、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
 ※「Manaca」[manaca]は株式会社名古屋交通開発機構及び株式会社エムアイシーの登録商標です。
 ※「SUGOCA」は、九州旅客鉄道株式会社の登録商標です。
 ※「nimoca」は、西日本鉄道株式会社の登録商標です。
 ※「はやかけん」は福岡市交通局の登録商標です。
 ※「nanaco」は株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。
 ※「WAON」は、イオン株式会社の登録商標です。
 ※「楽天Edy(ラクテンエディ)」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

【空港から観光地へのアクセス向上】

琴平バス株式会社と連携し、人気の高い観光地である「琴平」「祖谷（いや）」と高松空港をダイレクトに結ぶ定期路線バスを本年6月頃に運航開始予定です。高松空港の民営化に合わせて、4月1日に第一弾モニターツアーを実施します。

<モニターツアーの概要>



3 案内サービスの強化

【ホームページのリニューアル】

香川県木オリーブのグリーンを全面に配色し、民営化した高松空港のフレッシュさと親しみやすさを、ユーザーの皆様感じて頂けるようなデザインにしました。また、別々のサイトであった高松空港と高松空港ビルのサイトを統合したことにより、ユーザーが必要な情報へのアクセスしやすく整理され、また、施設全体が一体となって情報発信しやすいサイト構成になっております。またレスポンシブデザイン化したユーザーインターフェースは、パソコンやスマートフォンなどのアクセス環境でも、ユーザーが直感的に操作できるように工夫しました。

◆高松空港ホームページ : <https://www.takamatsu-airport.com/>

【「ことでん・JR くるり～んきっぷ」の販売開始】

インフォメーションカウンターにおいて、四国高松の周遊観光に便利な「ことでん・JR くるり～んきっぷ」の販売を開始しました。

ことでん・JR くるり～んきっぷ
JR四国線(志度～高松～琴平間)とことでん全線が1日間乗り降り自由のきっぷです。

●料金/
大人 **1,960円**
小児 **980円**

●フリー区間
多度津 丸亀 宇多津 坂出 高松 高松築港 高松琴平電気鉄道線
ことでん 志度 ことでん 屋島 瓦町 栗林公園北口 栗林公園 屋島 志度 長尾

●JR四国ホームページでもお知らせしています。
<http://www.jr-shikoku.co.jp>

【SIM販売機の設置】

年々増加するインバウンド需要を見越し、主に海外から訪れるお客様向けに、国際線到着出口にSIM販売機1台を設置しました。

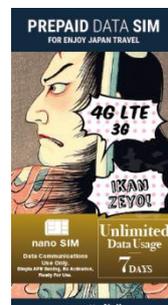
<販売機設置イメージ>



<商品ラインナップ>



- 利用可能期間
7日間
- 回線
SoftBank
- 価格(税込)
2,000円
※民営化キャンペーン
- データ制限
1GB



- 利用可能期間
7日間
- 回線
NTT docomo
- 価格(税込)
5,000円
- データ制限
無制限

【販売機設置者 イン・プラス株式会社】

2018年設立。インバウンド向けのSIM取扱いをはじめアウトバウンド向けWi-Fiの貸し出しなど、国内外において情報通信事業を展開。

4 航空ネットワークの拡充

ジェットスター・ジャパンが運航する、高松ー東京(成田)線が2018年4月1日より1日最大3往復に増便されます。これまでの1日1~2往復の運航から、1日あたり1往復増便され、平日は1日2往復、週末や5月の大型連休・夏休みなどの繁忙期は1日3往復となります。

<運行スケジュール>

高松発 10:50、15:30、20:15 / 成田発 8:50、13:25、17:55

5 その他

【ロゴマークの作成】

四国瀬戸内のNo.1の国際空港になるという大きな目標に向かい、これからの四国の玄関に相応しいロゴを考えました。空港の滑走路、四国の山々にお遍路、瀬戸内の多島美などを感じられるデザイン、香川県木オリーブの実をイメージした色。末広がりの形には、さらに世界に広がり発展していく願いを込めています。



高松空港



TAKAMATSU AIRPORT



高松空港

TAKAMATSU AIRPORT

【制作 株式会社 tobufune】

代表者小口翔平。グラフィックデザイナー、アートディレクター。FUKUDA DESIGNを経て、2011年「tobufune」を創業。ブックデザインを中心に、エディトリアル、映画の宣伝美術、展覧会広告、ロゴなど、様々な分野で活動。TokyoTDC、日本タイポグラフィ年鑑、造本装幀コンクール、東京装画賞など入選、入賞多数。

【「NEOHENRO」キャンペーンの実施】

四国のフォトジェニックな88箇所を紹介する動画「NEOHENRO | 四国ネオ遍路（順打ちver.）」を公式YouTube、公式ウェブサイト、公式Instagramで公開しました。

- ◆ 「NEOHENRO | 四国ネオ遍路」公式YouTube
: https://youtu.be/q9q8ID_S3ao
- ◆ 「NEOHENRO | 四国ネオ遍路」公式ウェブサイト
: <http://neohenro.com>
- ◆ 「NEOHENRO | 四国ネオ遍路」公式Instagram
: <https://www.instagram.com/neohenro/>

「NEOHENRO（ネオヘンロ）」とは、高松空港が香川県そして四国の新しい魅力を伝えていく新キャンペーンです。その第1弾として、四国のフォトジェニックな88箇所を斬新な映像表現で紹介する新ムービー「NEOHENRO | 四国ネオ遍路（順打ち ver.）」を公開しました。今回のムービー公開に先立ち、「NEOHENRO | 四国ネオ遍路」公式Instagramでは、「NEOHENRO」で紹介する88箇所のスポットを3月19日から順次発信。今後の「NEOHENRO | 四国ネオ遍路」キャンペーンの取り組みにご期待ください。

【参考：会社概要】

社名	高松空港株式会社
所在地	香川県高松市香南町岡 1312 番地 7
設立	2017年9月11日
代表者	代表取締役社長 渡部 哲也
株主	三菱地所(株)、大成建設(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、シンボルタワー開発(株)、香川県、高松市（順不同）
資本金	82億7,700万円
事業内容	高松空港の運営等（運営および維持管理ならびにこれらに関する企画を行い、同空港の利用者などに対するサービスの提供を含む。）およびこれに関連する事業